

～下記の研究を行います～

## 『IMP-6型カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の 菌種別薬剤感受性の検討』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 IMP-6型カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の菌種別薬剤感受性の検討

【研究責任者】 中蔵 伊知郎

【研究の目的】 IMP-6型 CPE の薬剤感受性の傾向と菌種による違いの検討を行うこと

【研究の期間】 研究許可日～2020年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2011年4月1日～2016年12月31日までの期間に国立病院機構大阪医療センターでメタロβラクタマーゼ産生菌が検出された患者さんのうち、行政検査の菌株解析にてIMP-6型カルバペネマーゼ産生菌と判明した患者さん。

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：

年齢、性別、体重、身長、当院での治療内容、IMP-6産生腸内細菌科細菌が検出される前の直近1年間に使用された抗菌薬

②疾患情報：既往歴

【研究の資金源】 特になし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではありませんが、利益相反については、当院の利益相反審査委員会で適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 薬剤部 調剤主任

中蔵 伊知郎